

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	南信濃観光施設整備費				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	南信濃自治	課等名	南信濃自治振興センター		包含する細々目	1	7	1	4	18	3		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等							
		事業期間	18	年度～	18	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	観光施設の改修	かぐらの湯(温泉の施設内部) ペレットボイラ導入(50万kcalペレットボイラ、配管、貯湯槽、建物工事)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			39000			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
施設の利用者	工事完成率(%)	18目標	100	最終目標		
		18実績		19目標	100	↑ 最終目標達成年度
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑ 最終目標達成年度
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	観光施設かぐらの湯は、観光客などを中心に年間約95,000人が利用している。現在135万Kcalのボイラ1基で、風呂、洗い場給湯、床暖房、ミストサウナ等をすべてに対応しているが、利用者が多いと上がり湯(シャワー)として使用のお湯が水になってしまうことまた、既存のボイラが故障すると長期休業しなくてはならない恐れもあり、ペレットボイラを導入し課題の改善を図る。さらには、平成12年3月の開業以来修繕工事を計画を立て実施してきたが、今回温泉施設内(木造建築)の柱等が温泉成分による腐食等がみつきり早急に改修工事を行いたい。また、原因である温泉の湯気の換気をよくするため屋根の改修工事を図り利用者に安心・安全な施設として利用してもらおう。	・適正な入札 ・工事を進める上で入浴者に配慮		工事費 37,900千円 設計監督委託 1,100千円
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	23,333
	一般財源	0	15,667
事業費計(A)	0	39,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 350	19年度 350
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,252	1,252
	トータルコストA+B	1,252	40,252

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	利用者が安心して施設の利用ができる。	利用者数(人)	現状値	95000	19実績	105000
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

